# 「2025 年富士山ヨットレース」 帆走指示書

2025年10月吉日

1. 適用規則:本レースはJSAF競技規則を適用する。

但し、「第7章91プロテスト委員会」を除く

- 2. 出場資格:
  - (1) 富士山を望む海をフィールドとし、セーリングを愛する方。
  - ②艇長を含む乗員の数は小型船舶安全規則に定める最大搭載人員(定員)を超えていないこと。
  - ③ヨット保険(第3者賠償責任保険を含む)に加入していること。
  - ④有効な小型船舶検査証書を有している艇であること。
  - ⑤乗員全員が確実に作動する桜マーク付きのライフジャケットを着用していること。
  - ⑥参加者は故意にごみを海中に投棄しないこと。
  - ⑦反社会的勢力でないこと。
- 3. クラス分け:
  - ①ハピネスクラス ・・・コース1:レースを手軽に楽しみたいクラス。
  - ②コンペティションクラス・・・コース2:より競技志向でレースを楽しみたいクラス。
- 4. 修正時間システム:

ヤマハマリーナ沼津・クラブレーティングで修正した時間で、小なるものを上位とする。

5. コース:

別紙1に示す牛臥沖に設定する以下のコースとする。

コース1:別紙1に示す三角形のコース。

スタート→M 1 → M 2 → フィニッシュ (L) (反時計回り)

② コース2:別紙1に示す三角形のコースに加え上下1周。

スタート $\rightarrow$ M1 $\rightarrow$ M2 $\rightarrow$ L $\rightarrow$ M1 $\rightarrow$ フィニッシュ(L)(反時計回り)

※M1、M2共、自走式マークブイを導入予定(写真参照)

- 6. スタート
  - ①スタート日時:2025年11月9日(日) コンペティションクラス 10:00 ハピネスクラス 10:15
  - ②スタートライン:

スタートラインは海上の本部船が揚げる「白地に赤色ロゴのYAMAHA旗」と リミットマークブイ(L)を結ぶ線とする。 YAMAHA

③ スタート信号

A: コンペティションクラス

5分前:<mark>緑色旗</mark>を掲揚し、音響信号1声を発する。

4分前:P旗を掲揚し、音響信号1声を発する。

1分前:P旗を降下し、音響信号1声を発する。

スタート: 緑色旗を降下し、音響信号1声を発する。

B: ハピネスクラス

5分前: 黄色旗を掲揚し、音響信号1声を発する。

4分前:P旗を掲揚し、音響信号1声を発する。

1分前: P旗を降下し、音響信号1声を発する。

スタート: 黄色旗を降下し、音響信号1声を発する。

※なお4分前以降は両クラスとも同様。

※計時は各信号旗を優先し、音響信号の不発は無視する。

④スタートの延期

スタート延期の場合、延期信号として回答旗を掲揚、音響信号1声を発する。 そののち回答旗降下、音響信号1声を発した1分後にスタート5分前(6.③を参照)とする。

回答旗



⑤スタートラインの消滅: スタートラインはスタート10分後に消滅する。

#### 7. リコール

①リコール:音響信号1声と共にX旗を掲揚する。 X旗は全てのリコール艇がリコールを解消した時点で降下する。 ※但しこれに関わらず、スタート10分後には降下する。



②ゼネラルリコール:音響信号2声と共に第1代表旗を掲揚する。 新しいスタートは第1代表旗降下、音響信号1声を発した1分後に<mark>緑色旗</mark>を 掲揚し、再スタート5分前とする(以降、上記6.③と同様)

③フィニッシュした艇に対し、本部船より各々音響信号1声を発する。もしこの1声がない場合は リコール艇であり、そのリコールを解消しないままレースを続行、フィニッシュラインを通過し たもので失格となる。

## 8. フィニッシュ

①フィニッシュラインは海上の本部船が揚げる「白地に赤色ロゴのYAMAHA旗」と リミットマークブイ(L)を結ぶ線とする。

YAMAHA

④ フィニッシュ本部船には青色旗を掲揚する。

※フィニッシュは両クラス共、流し込みとする(廻り込みではない)。



#### 9. レースの中止

スタート信号後でもコミッティー(本部船)は下記のいずれかの理由によりレースを 中止(ノーレース)することがある。その際は音響信号3声と共にN旗を掲揚。



- A) 悪天候(大幅な風向の変化を含む)
- B) どの艇もタイムリミット内にフィニッシュで出来そうもない不十分な風。
- C) 競技の安全、または公正に直接影響するその他の理由。

## 10. コースの短縮

天候上、時間内に多くのレース艇がフィニッシュ出来そうもないとコミッティー (本部船) が判断した場合、コースの短縮を行う。

① コース短縮の場合は本部船とマークボートより音響信号2声と短縮の該当するクラス別信号旗を掲 S旗 揚する。

A: コンペティションクラス

信号旗:S旗 B: ハピネスクラス

信号旗:第2数字旗

第2数字旗



②トップ艇がこれより回航しようとしているマークブイと本部船、またはマークボートを結ぶ線を 短縮後のフィニッシュラインとする。本部船、又はマークボートを左に見て、マークブイを右に見て 通過。フィニッシュラインになる本部船、またはマークボートには<mark>青色旗</mark>、およびクラス別信号旗を 掲揚する。

青色旗



#### 11.タイムリミット

<u>12:30とする ※両クラス</u>とも同時刻

## 12. レース艇の義務

- ① 出艇申告し、スタートしていない艇は速やかにその旨を海上の本部船にに報告する。
- ② [リタイア] リタイアした艇は速やかに海上の本部船に報告する。TEL 080-3558-4313 石上 迄
- ③ 〔事故報告〕レース中に事故があった艇は、レース後速やかにコミッティーに文書にて報告する。
- ④フィニッシュしたレース艇は速やかにフィニッシュライン付近より離脱し、ジブセールを降下させる事。

### 13.規則違反&救済

- ①レース中にJSAF競技規則第2章の規則に違反したかもしれない艇は、ケースの後、可及的速やかに 他の艇から十分離れた後、速やかに2回のタックと2回のジャイブを含む同一方向への2回転を行 うことにより「2回転ペナルティー」を履行したこととする。
- ②レース中にマークと接触(規則31.1に違反)した艇は、可及的速やかに他の艇から 十分離れた後に、速やかに1回のタックと1回のジャイブを含む1回転を行うことにより

「ペナルティー」を履行した事とする。マークの廻り直しではない。

④ その他、レース規則に違反した艇は失格または30%以上のタイムペナルティーを課すことがある。

## 14. その他

- ①本部船は海上で「白地に赤色ロゴのYAMAHA」を掲揚している。
- ⑤ マークボートは海上で「赤地に白色ロゴのYAMAHA旗」を掲揚している。
- ③レースの終了は本部船のヤマハ旗を降下した時点となる。



#### 15. リスク・ステートメント

レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任はその艇のみにある。

レースに参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な 危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の 突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労に よる傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、 その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

主催団体は、レースの前後、レース中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

レース委員長 真鍋 仁(ヤマハマリーナ沼津オーナーズクラブヨット部部会長)

レース委 員 石上 岡本 竹島 八木

※本部船連絡先:石上 TEL 080-3558-4313

※陸上本部連絡先: 事務局 ヤマハマリーナ沼津 TEL 055-939-0311

## 参考 (画像)

本部船(船名: Marian)



マークボート(船名:オメガ またはLIP)



M1、M2マークブイ



リミットマークブイ



# 乗船登録名簿

フリガナ	
船名	
セール NO,	

	スキッパー氏名	性別	年齢
1		男性 ・ 女性	歳

	クル一氏名	性別	大人 お子様【小学生まで】
2		男性 • 女性	大人 ・ お子様
3		男性 • 女性	大人 ・ お子様
4		男性・女性	大人・ お子様
5		男性 • 女性	大人 ・ お子様
6		男性・女性	大人・ お子様
7		男性 • 女性	大人・お子様
8		男性 • 女性	大人・お子様
9		男性 • 女性	大人・ お子様
10		男性 • 女性	大人 ・ お子様
11		男性 • 女性	大人 ・ お子様
12		男性 • 女性	大人 ・ お子様

個人情報の取り扱いについて以下の範囲内で利用させて頂きます。

- 1) 利用目的 ヨットレース案内
- 2) 利用範囲 ヤマハマリーナ(株) 沼津営業所賜り部署に限ります。
- 3) 利用の期間 当用紙は2ヵ年迄保管します。経過後廃却致します。

取扱い責任部署 ヤマハマリーナ(株) 沼津営業所

静岡県沼津市江浦 514 TEL055-939-0311 FX055-939-1413

写真の取り扱いにつきましてもHP・ブログ・イベント案内・報告書など以外への使用はいたしません。